

テーマ：「これから更に必要となるボランティアの力」

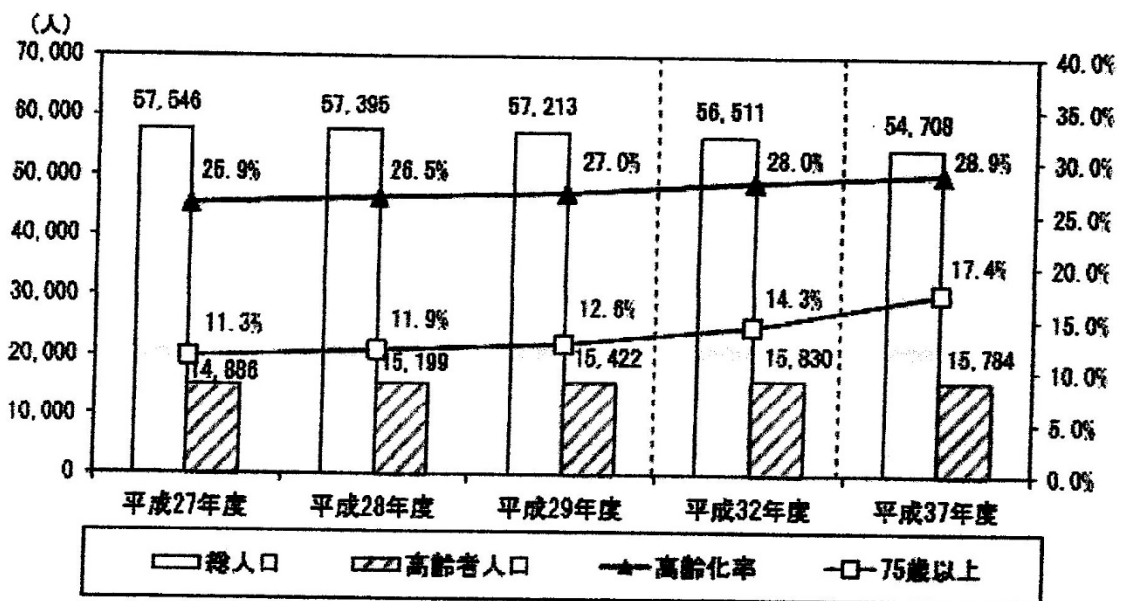
大阪狭山市市民活動支援センターVIC

1. 大阪狭山市の高齢者の現状

1/3

当市の高齢化率にあるように、年々増加をたどり、行政だけの金銭支援だけでは、どうにもなりません。今、必要となってくるのは、併せて人的支援（ボランティア）の力です。

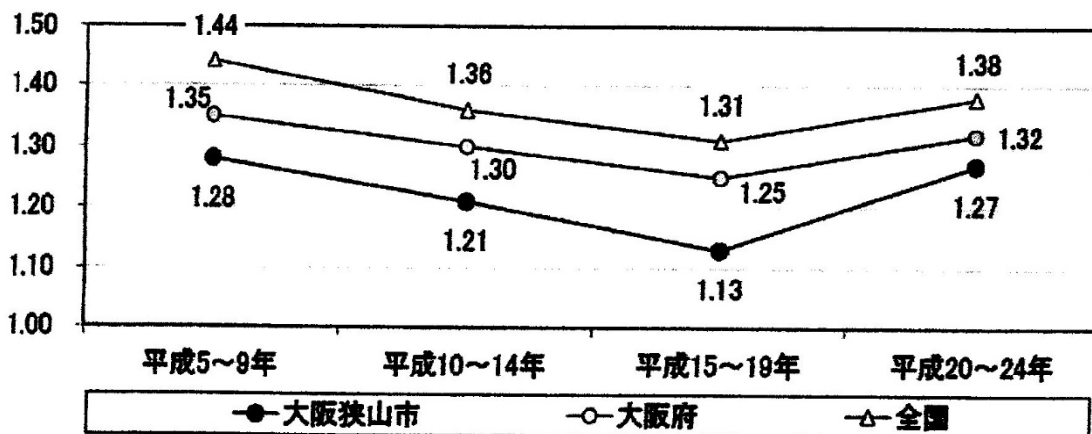
高齢化率の推移（10年後）



2. 子育て環境の現状

合計特殊出生率の現状

当市は平成32年には1.54に向上、平成52年には2.07の将来展望を描いている。



3. ボランティアが必要とされる分野

1) 子育て・教育分野

(1) 子育て分野：①放課後児童会事業（各小学校で実施）

②地域子育て支援拠点事業（ぽっぽえん）

③つどいの広場事業（ファンズガーデン）

(2) 教育分野：①狭山っ子ティーチャー事業

②こどもの広場・元気っ子クラブ（各小学校で実施）

③放課後授業（各小学校で実施）

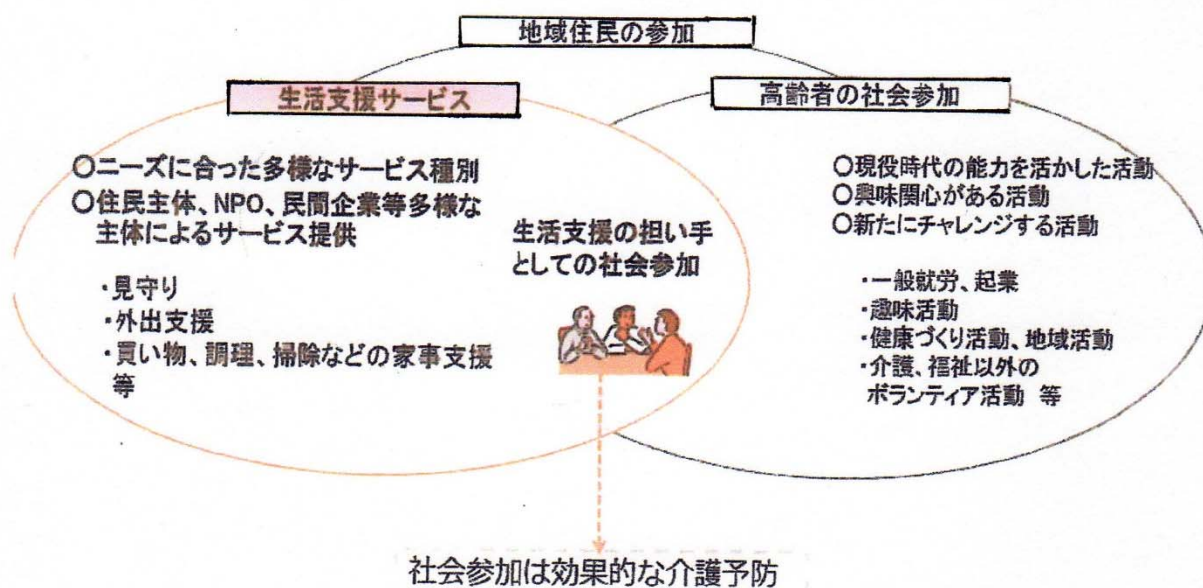
④体育指導事業（各小学校で実施）

⑤その他

2) 高齢者を対象とした分野（これからの分野/生活支援事業）

平成 29 年 4 月から始まる新総合事業では大阪狭山市民の支援がどれだけ得られるかにより、大きく生活環境や住みやすさに影響してきます。

今後、皆さんで考えていきましょう！





私たちのまちを
私たちでつくる
生涯住み続けたいまちづくり

3/3

<参 考>

はじめてのボランティアで「地域デビュー」する時の心構え

- ① 過去のスキルや経験にとらわれすぎない
- ② 人と話す時は、元気が出るポジティブな話をする
- ③ 地域には多様な価値観を持つ人がおり、たとえ相容れない場合も頭を柔軟にして、聞き上手になる
- ④ 自慢話をしない
- ⑤ 見栄を張らない
- ⑥ 年長風を吹かせない